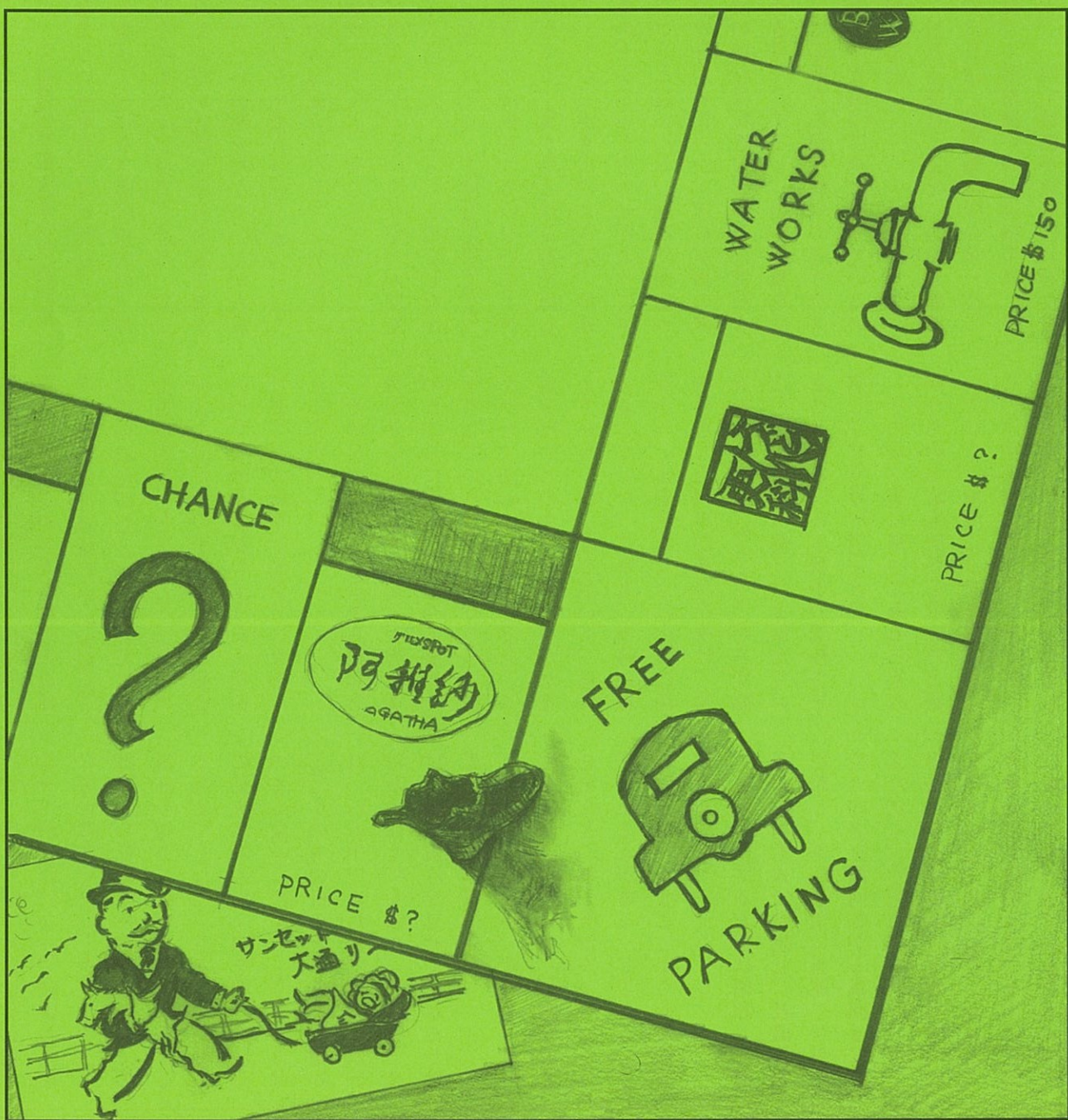


寺町界限

TERAMACHI-KAIWAI

わたしたちの町の、わたしたちの情報誌。12月号 ■発行/寺町のまちづくりを考える会事務局 ☎21-3461 ■通算12号



裏街道の食いしん坊 鉄人28号

大変なグルメブームである。テレビでは鉄人と崇められる料理人が舞い、雑誌では究極のメニューがもてはやされる。たしかに素晴らしい技術、センス、知識、である。しかしながら、見る側にとって忘れてはならないのは、彼らには血のにじむような修行時代があったということだ。到底、我々凡人達がたどり付ける域ではない。ここでひとつの問題が起りつつある、「ママ、

鉄人28号流究極?のステーキ

- 1 一番安い牛肉(外国産でよい)を一口サイズにカット
- 2 塩、胡椒、ガーリック(なければパス)を多目にふる。
- 3 フライパンに油をひきケムリがでるまでまつ。
- 4 肉を入れ、強火のまま焦げ目がしかりつくようにいためる。

ふり、オーブントースターで焦げ目がつくまで加熱する。

- 2 シャケをバラバラにほぐし(皮を大切に、小さくきる。)醤油をほんの少しまぶす。
- 3 アツアツのご飯とよくまぜていただく。(面倒でなければ三ツ葉をませる。)お酒のあとに最高です。



鉄人ならこうするヨ」「ママ、鉄人のほうが美味しそう。」「あの店の…は冷凍だから」「あの店は化学調味料を使っているから…」等々、家事におわれる奥様方、大衆食堂のおやしにとつては「勘弁してヨ」と、愚痴の一言も言いたくなるだろう。まあ、面倒な話とはかくとして、カンタンで美味しくたべる方法をご紹介しますよ。

- 5 焦げ目のあいだから血がにじんできたらもうすこしいためる。
- 6 ワインをふる。(なければパス)
- 7 皿に移して日本が世界に誇る調味料醤油をかけていただく。

ご飯には勿論、ビールにもバッチリ

塩焼きジャケのインチキ丼

- 1 すでに焼いてあるシャケにつすく塩を

い、でもそれだけではいはず

家族が寝たあと台所で家事におわれた一日をふりかえって、「ほっと」してたべるインチキ丼、

「よく働いた」と自分を褒めながらビールと一緒にたべるカンタンステーキ

そんな食いしん坊達に乾杯!

この頃の記憶の中で実に痛ましい出来事があった。この稿執筆のため少しでも正確を期したいと県立図書館で確認したが、戦争末期

Part II 長谷川 良 睦

義談長手

昭和二十年七月二十
八日の出来
事である。
多分空襲警
報が発令さ
れていたか
らと思うが、
その日はた
またま自宅
にいた。そ
のうち警報
も解除され
何かの連絡
で給食貰い
に学校へ登
校するよう
指示があり、
学校に出掛
けて行った。

あとでまた触れるが、境内には北寺町の表通りの建物疎開に駆り出された松江中学校の生徒が屯していた。学校に着いた頃、普通が警

戒警報から空襲警報への順であるが、突如警戒警報抜きに空襲警報

凄まじい銃撃音で身が疎む。先生の指示で今はなき灘町校舎の、理科室の机の下に身を潜めた。毎日B29が我が者顔で銀色の翼を輝かせながら高空を飛んでいたから敵機にはやや慣れ気味であったが、この日は違う。グラマン戦闘機の爆音が直ぐ上に聞こえ、間なしにばりばりばりという銃撃音が間断なく聞こえ、生きた心地がしなかった。しかし、子供は単純なのか、自分たちが狙われていないことが分かると、亀が恐る恐る首を出して、やおら歩き出すように、早速机の下から申し合わせたようにゴソゴソと這い出し、誰が先頭切ったか分からないが、理科室横の階段の踊り場付近の窓から宍道湖を覗き見た。すると、船が銃撃を受けて船頭さんが操舵室の周りをゲルゲルと巡って逃げ惑っているのが見えた。

松江市誌によると「当時の新聞によれば、敵機動部隊の第一波二百六十機が瀬戸内、島根半島に飛来、；四十数機が数度にわたり松

江市と近郊を爆撃した。海軍航空隊の基地建設中の玉湯町の宍道湖岸、それに沖合航行中の軍用船、松江の造船所などが狙われた。」

とあるので、私たちが見た光景は、沖合を航行中の軍用船（軍用船といっても砂運搬船のような小型船だが）への銃撃の光景ではなかったろうか。

その日の帰り、どこから情報を得たか定かではないが、天神踏切のところに汽車が止まって遺体を下ろしているの聞き、そちらに向かった。話の通り遺体を下ろし、南寺町のどのあたりであったか覚えていないが、筵を敷いて、遺体を並べていた。これも、当時の新聞が「；布志名あたりの山蔭に待避停車した列車が銃撃を受け、約五百人の乗客のうち十四人が死亡、十四人が負傷；」と伝えてい

ることにまつわる戦争の悲惨さを感じさせる思い出である。
その後、家に帰ってみると家人がうちのお宮も銃撃を受けたと騒いでいる。境内には北寺町の表通りの建物疎開に駆り出された松江中学の生徒が屯していたと先述し

たが、家人の話では中学生の白いシャツが目印になり、銃撃の目標になったというのである。そして、拜殿から社務所への参道際と一の鳥居の辺りに銃撃の弾痕跡があると教えてくれた。さらに、白御影の狛犬さんの阿（口を開けているのを「阿」という、もう一方は「吽」）の方の口のところを射抜か

れ、口の中でくわえている玉が砕けたと伝えてくれた。その時、砕けた玉の破片を見せてくれたとは思いますが今は記憶にない。
後日談になるが、その後、その話を人に伝え、相手と一緒に狛犬を見たところ、玉が入っていて当惑したことがある。ところが、つい先日ひよんなことからその経緯がわかった。

私の奉仕するお宮は昭和二十四年の白濁大火で全焼し、社殿再建に際し、ある事情（後述）からお宮の向きを西向きから東向きに変えたが、一の鳥居や白御影の狛犬、手洗舎などは以前の配置のままになっていた。長い歳月を経たが、教職を定年退職したのを汐に近頃

になってやっとであるが現在の向

きに合わせるべく配置換えを計画し、今その最中である。話題の白御影の狛犬も一連の計画の中にあるが、先日、石屋さんと境内の入り口付近で打ち合わせていた時



に、たまたまこの狛犬を奉納した方の家族の方が通り掛かられたので、狛犬移築の話を上上げ、話が狛犬の口の中の玉の所在に及んだところ、実はそれはということから、自分の家にあった共布ならぬ共石で、銃撃により失った玉を作り直してあらためて入れた由をうかがい、積年の疑念が氷解し、やっと納得がいったのである。

お詫び：前回11月号記事中の「鬼畜米兵」は「鬼畜米英」の誤りでした。訂正し、お詫び申し上げます。

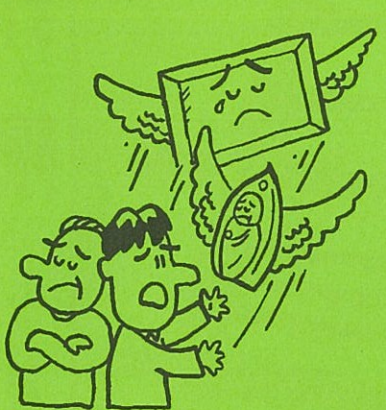
寺町の男たちへ

◎『寺町界限』を毎月、町内に配布しています。作文集もよろしいが、下記のような具体的な記事も掲載してください。

- ※どこそこの電柱が一本移動。
- ※何とか商店様が○月○日に移転。
- ※○○番地の空き家が○月○日に取壊。

小さなことでもよいから、まちづくりの進捗状況も皆様知りたいよう

です。
八軒屋町の大宮、小宮、歳徳神の偏額等が斐川町の神水地区に売却されました。町内会として古来から



来つつあるのかも…。
(水清ければ、魚住まず)
投稿 寺町 匿名希望
◎貴重なご意見ありがとうございます。最初のご指摘の点、『まちづくり消息』的なもの、今後検討いたします。二番目の点、『襲行列』が賑々しく報道されるなか、一方で、地区の宝物が流出する―心痛む話です。

現在、駅本通り商店会さんの事務局では、『街づくり』の一環として、舟券売場のご協力で、スケートリンク以外に、ソフト事業として『文化基金』を検討中です。これは、中央小学校地区を前提に、地区の伝統行事（祭や神輿）の維持の経費や文化

現述事業への補助による地区の地域おこしをお手伝いするものです。従来の行政方式とは別の機動性と柔軟性を持たせたものをお考えのよう



れません。
地区外の人にはわからない事情が、どこの地域にも存在します。そのためにも地域の人の現実的なまちづくりへの提案を歓迎いたします。
(編集部)

◎前号の投稿で『場外舟券売場』が県内すべてで反対されているようなご意見ありましたが、『浜田市』では市議会、地元いづれも了承されているとのこと

です。
駅本通り商店会事務局さんより

寺町写真館



GHQ部隊(朝日町十字路付近)

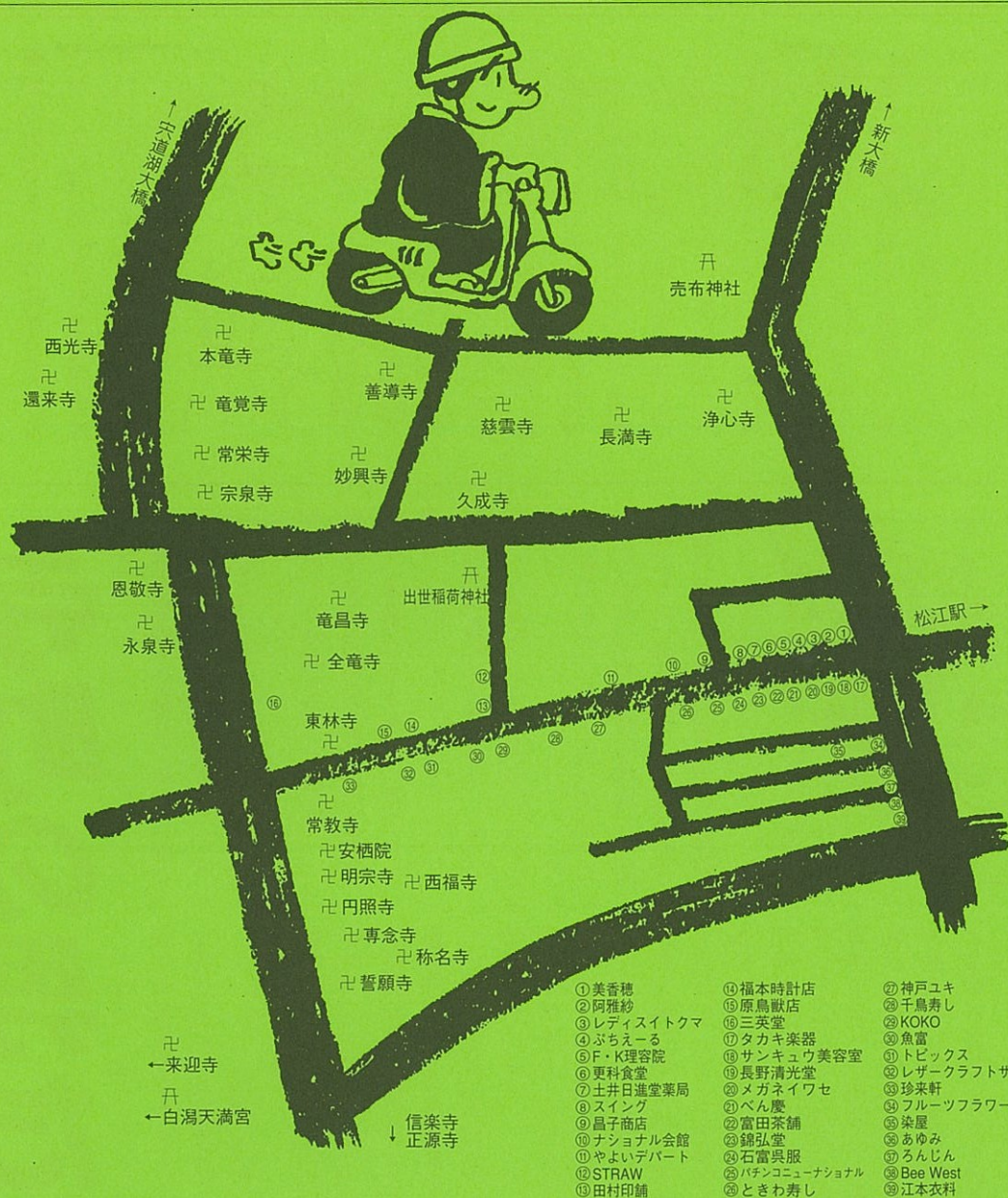
写真提供/山陰中央新報社

松江

寺町界隈

てらまちわい

地図



編集後記

▽「もっかりまっか」関西のあいさつ。「Something new(何か新しいこととは、ないかい)?」米国の、ある研究室での早朝の挨拶。

松江の挨拶は、何が似合っただろうか。「百米の野球の一番の違いは、米国では選手も観客も、決して現状に満足しようとはしていないこと。」日本中が感動した大リーガー野茂英雄選手の帰国の舟。

江戸や明治の自然は残ってしまったが、松江にも確かにあったはずの、先人たちの進取の気風が、今は失われてしまった様な気がするのには僕だけだろうか。(錦織)▽子供が年子なので二年続けて受験生を抱えることになりました。

人生の岐路に立ち、子供達なりに思い悩み、不安と戦いながら、毎日一生懸命勉強しているだろうけど、もつと出来るはずだと思っただけの親の欲目か。鷹はなかなか鷹を生まない、子供には子供の人生がある。自分の過去を振り返り首筋に秋風の寒さを一段と感じる、この頃です。(中村)▽伝統文化を後に伝えるのはたいへんむずかしい。何とんでもお金の問題である。幸か不幸か我が寺町には「鑿」がない。「鑿」のないさびしさと「鑿」を持つつらさを痛感している。

市で「鑿」を持って、年ごとに参加したい町内に貸し出すという案はどうだろうか。まあ、この案も「鑿」を持たない身軽さからであるが、失礼(尾郷)

▽子供の頃、好きだったゲームに「モノポリ」というのがありました。この街もこのゲームの様にハラハラ・ドキドキ面白くなるというね。(高木)

「掲示板」記事募集!

皆様に自由に使っていただく掲示板です。話題や情報、ご意見など、どうぞご自由に利用ください。送り先は事務局までどうぞ。

寺町のまちづくりを考える会
事務局 〒690 松江市寺町199 錦弘堂食品店内
TEL21-3462 FAX21-3461